

3 学年 音楽 ガイダンス・シラバス

担当 武樋 まどか

1.音楽を学ぶねらい

表現や鑑賞の幅広い活動を通して音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な表現能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め豊かな情操を養う。

2.学習目標

- ① 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
- ② 音楽表現を工夫することや、音楽のよさや美しさを聴くことができるようにする。
- ③ 鑑賞により音楽のよさや美しさを味わい、豊かな情操を培う。

3.持ち物

①教科書 ②音楽のキャンパスワーク ③コーラスフェスティバル ④筆記用具 ⑤ファイル

4.学習の評価と方法

〈知識・技能〉〈思考・判断・表現〉〈主体的に学習に取り組む態度〉

評価の観点	評価の方法
I 知識・技能	(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(イ) 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている【定期テスト】【実技テスト】【演奏発表】【提出物】
II 思考・判断・表現	(ア) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴いている【定期テスト】【実技テスト】【鑑賞の場合は批評文】【提出物】
III 主体的に取り組む態度	(ア) 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている【実技テスト】【定期テスト】【授業の取組の様子】【ワークの記述】

5.先生からのアドバイス

音楽の授業では、歌う・演奏するだけではなく、「感じること」「考えること」も大切にしてほしいと思います。同じ曲でも感じ方は人それぞれです。友達の感じ方に触れることで、自分の世界も広がっていきます。積極的に関わりながら、音楽の楽しさや奥深さを味わっていきましょう。

6. 年間学習計画

学 期	学習内容・項目	学習のポイントと目標	評価の観点
1	1. 歌唱 【日本の歌のよさや 美しさを味わい、 表現を工夫しよう】 「花」「早春賦」 音楽祭課題曲「 」 自由曲「 」 2. 鑑賞 【音楽の特徴や背景を 理解して、 その魅力を味わおう】 ①「ブルタバ」 3. 楽典「音楽記号・用語」	・楽曲に対して興味・関心を持ち、歌詞の意味を理解し、味わいながら表現を工夫する能力を育てる。 ・音楽祭を通して、表現力や合唱を愛好する心情、仲間と協力して合唱をつくりあげる力を育てる。 ・楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの特徴、各要素同士の関連によって生み出される曲想の変化を理解して聴き、そのよさや美しさを伝える能力を育てる。 ・音楽を形作る要素を学習する。	【評価の観点】 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に取り組む態度 【評価の方法】 1. 期末考査 楽典の生まれた背景や詩の内容、作詞、作曲者、楽典についてなどの知識・理解を問う問題を出题する。 2. 実技テスト 発声を意識し、豊かな声の響き、表現の創意工夫等を評価する。 3. 授業の取組 主体的に学習に取り組み、自己の表現ができているか等を評価する。
2	1. 歌唱 音楽祭課題曲「 」・ 自由曲「 」 2. 鑑賞 【耳でたどる音楽史】 【混声3部合唱】 全校合唱曲 卒業式歌	・合唱を通して、ハーモニーの美しさを感じ取りながら歌う。 ・各時代音楽を、地域文化や歴史とかかわらせて聴き、音楽を広く愛する心情を育てる。 ・合唱を通して、表現力や合唱を愛好する心情、仲間と協力して合唱をつくりあげる力を育てる。	【評価の観点】 1 学期と同様 【評価の方法】 1 学期と同様
3	1. 歌唱 「花の街」 【混声3部合唱】 全校合唱曲/卒業式歌 2. 器楽 【雅楽の特徴を 理解して、 その魅力を味わおう】 ① 雅楽「越天楽」 【箏で二重奏を演奏してみよう】	・日本の伝統文化に親しみ、生涯にわたり愛好する心情を育てる。 ・合唱を通して、表現力や合唱を愛好する心情、仲間と協力して合唱をつくりあげる力を育てる。	【評価の観点】 1 学期と同様 【評価の方法】 1 学期と同様

	3. 鑑賞 「ボレロ」		
--	----------------	--	--